



2025年12月期 第3四半期決算短信〔I F R S〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 日機装株式会社 上場取引所 東
コード番号 6376 URL <https://www.nikkiso.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 加藤 孝一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート部門長 (氏名) 村上 雅治 TEL 03(3443)3711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	152,278	0.4	8,211	119.6	7,985	72.7	7,402	79.4	7,331	75.0	9,809	72.6
2024年12月期第3四半期	151,708	13.6	3,739	119.9	4,622	△46.1	4,126	△35.7	4,188	△33.2	5,685	△55.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	110.65	110.51
2024年12月期第3四半期	63.26	63.18

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	328,354	149,531	147,706	45.0
2024年12月期	325,563	142,005	140,070	43.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2025年12月期	—	18.00	—		
2025年12月期 (予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,500	8.0	14,000	118.8	14,700	46.9	11,300	42.0	170.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) ー、

除外 6社 (社名) 日機装 (上海) 実業有限公司、Nikkiso Europe GmbH及びその子会社4社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年12月期 3 Q	69,175,664株	2024年12月期	69,175,664株
2025年12月期 3 Q	2,908,919株	2024年12月期	2,926,424株
2025年12月期 3 Q	66,259,696株	2024年12月期 3 Q	66,215,823株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 決算成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、航空機メーカーの生産体制正常化に向けた進展が見られる一方、米国における関税引き上げやそれに伴う物価上昇、米中対立の影響を受けたサプライチェーンの不確実性の高まり、国内血液透析市場の需要減少など、外部環境は依然として不透明な状況にあります。

インダストリアル事業の主要市場であるLNG分野は、米国の気候変動政策の見直しやエネルギー安全保障の観点から重要性が高まっており、設備投資需要は中長期的に拡大基調にあります。一方、次世代エネルギー分野は、気候変動政策の動向や地政学上の影響を受け、地域ごとに市場の進展速度や投資意欲にばらつきが生じています。

航空宇宙事業では、航空機産業の需要回復を背景に、サプライチェーンの再構築による増産が進む一方、部品供給の遅延や人材不足により供給面の不透明感が続いていましたが、こうした制約の解消が進むことで業界全体の生産活動は回復のペースが加速しつつあります。

メディカル事業の主要市場である血液透析市場では、国内では医療機関による設備投資意欲が慎重な姿勢で推移していますが、海外市場は、中国での需要回復が進んでいるほか、欧州は堅調に推移、アジア地域でも患者数の増加や医療水準の向上により市場は拡大しています。

こうした事業環境のもと、当第3四半期連結会計期間においては、インダストリアル事業では、受注済み案件の着実な遂行に加え、産業用ポンプ・システム事業における収益性の高い案件や販売価格適正化の取り組みが寄与し、前年から増益となりました。航空宇宙事業は、当中間期までは、航空機産業全体のサプライチェーンの回復遅れの影響で減収減益となりましたが、当第3四半期は、業界全体の増産の進展により増収増益に転じました。メディカル事業では、海外血液透析事業が牽引し、前年から増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、受注高は163,748百万円（前年同期比4.7%減）、売上収益は152,278百万円（同0.4%増）、営業利益は8,211百万円（同119.6%増）となりました。全体の売上収益はCRRT事業譲渡に伴う売上収益の消滅もあり前年同期比で微増にとどまりましたが、営業利益は各事業の着実な業績拡大により大幅な増益となりました。なお、円高影響による為替差損を640百万円計上（前年同期は316百万円の為替差益）したことから税引前四半期利益は7,985百万円（同72.7%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は7,331百万円（同75.0%増）となりました。

② セグメント別の状況

(単位：百万円)

	2024年12月期 第3四半期実績	2025年12月期 第3四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	171,829	163,748	△8,081	△4.7%
工業部門	111,436	106,043	△5,392	△4.8%
インダストリアル事業	98,547	93,027	△5,520	△5.6%
航空宇宙事業	12,286	12,730	+443	+3.6%
医療部門	60,579	57,914	△2,665	△4.4%
売上収益	151,708	152,278	+569	+0.4%
工業部門	92,839	96,142	+3,303	+3.6%
インダストリアル事業	80,256	83,152	+2,896	+3.6%
航空宇宙事業	12,009	12,708	+698	+5.8%
医療部門	59,030	56,336	△2,694	△4.6%
セグメント利益	3,739	8,211	+4,472	+119.6%
工業部門	4,268	7,257	+2,989	+70.0%
インダストリアル事業	6,318	7,478	+1,159	+18.4%
航空宇宙事業	△212	10	+223	—
医療部門	2,287	3,784	+1,496	+65.4%
調整額（全社費用等）	△2,949	△2,960	△10	—
税引前四半期利益	4,622	7,985	+3,362	+72.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	4,188	7,331	+3,143	+75.0%

※ 工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の金額が含まれています。

※ 2025年1月1日付の組織変更に伴い、2024年のセグメント実績は、組織変更後の区分で表示しています。

※ セグメントごとの各金額欄には、内部取引控除前の金額を表示しています。

《事業セグメント別の事業環境と事業概況》

事業	主要製品	2025年12月期 第3四半期の事業・受注環境	2025年12月期 第3四半期の業績概況
インダストリアル事業	液化ガス・産業ガス関連機器・装置	・LNG分野は、米国の気候変動政策の見直しやエネルギー安全保障の観点から重要性が高まっており、中長期的な需要拡大が見込まれる中、北米、欧州、アジア地域の液化・受入基地等の案件で活発な動きが継続。 ・水素、アンモニア等の次世代エネルギー分野は、地政学上の影響を受け、地域ごとに市場の進展速度や投資意欲にばらつきが生じている。	主要プレイヤーであるCE&IGグループは、 ・受注済案件を着実に遂行し、売上収益及び粗利益は増加。 ・体制整備に伴う固定費の増加により減益。 ・低・脱炭素市場に向けた技術・製品開発に加え体制整備を継続中。
	産業用ポンプ・システム	・受注高は前年を上回り、受注残の遂行に注力中。	・好採算案件や販売価格の適正化により、収益性の回復が継続。
	精密機器	・電子部品市場は依然として設備投資の調整局面が続き、受注高は前年並みとなる。	・前年同期比で僅かに増益。
航空宇宙事業	民間航空機向け炭素繊維強化プラスチック（CFRP）成形品	・航空機産業の需要回復を背景に、サプライチェーンの再構築による増産が進む一方、部品供給の遅延や人材不足により供給面の不透明感が続いていたが、こうした制約の解消が進むことで業界全体の生産活動は回復のペースが加速しつつある。	・業界全体の増産に伴い、主力製品カスケードなどの出荷が増加し、前年同期比で増収。 ・円高による減益要因はあるものの、製品ミックスの改善及び増収効果により前年同期比で増益。
メディカル事業	血液透析関連製品	・国内の血液透析患者数は、中長期的には緩やかな減少傾向に転じる可能性があるものの、当面は横ばいの状況が続くと予想される。 ・患者数が世界最大の中国市場では、設備投資需要の拡大による成長が期待される一方、国産化政策の進展により現地メーカーが増加し、競争環境が変化。 ・中国以外のアジア地域では、経済発展や医療体制の整備を背景として市場拡大が続く見通し。	・血液透析装置の国内販売は、医療機関の設備投資が引き続き抑制的に推移したことにより前年同期比を下回る。 ・海外販売は、中国市場の需要回復に加え、欧州での販売拡大等も寄与し、前年同期比で増収増益。 ・米国市場展開については、2025年5月に血液透析装置の販売許認可の取得完了。次のステップとして、上位機種となる多用途型血液透析装置の許認可取得に向けた対応進行中。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は328,354百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,790百万円増加しました。「売却目的で保有する資産」は減少したものの、「長期金融資産」が増加したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は178,822百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,735百万円減少しました。「リース負債」は増加した一方で、「短期借入金」、「長期借入金」が減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は149,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,525百万円増加しました。「その他の資本の構成要素」と「利益剰余金」の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間においては、全体として概ね計画通りに業績は進捗しており、現時点では連結業績予想を据え置きます。不確実性の高い事業環境が継続しているため、今後、急激な事業環境変化により修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。当該業績予想で前提としている為替レートは、150円／米ドル、160円／ユーロです。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	34,663	32,531
営業債権及びその他の債権	70,644	69,716
その他の短期金融資産	2,047	1,676
棚卸資産	57,501	61,649
未収還付法人所得税	707	675
その他の流動資産	5,838	7,059
小計	171,403	173,308
売却目的で保有する資産	8,734	486
流動資産合計	180,137	173,794
非流動資産		
有形固定資産	53,369	49,881
のれん及び無形資産	38,013	35,943
使用権資産	24,013	28,260
持分法で会計処理されている投資	5,120	5,376
長期金融資産	20,971	31,285
繰延税金資産	2,846	2,849
その他の非流動資産	1,090	962
非流動資産合計	145,426	154,559
資産合計	325,563	328,354

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	9,105	5,634
営業債務及びその他の債務	28,915	26,032
リース負債	3,487	3,870
その他の短期金融負債	680	673
未払法人所得税等	1,494	568
引当金	1,404	1,629
その他の流動負債	35,665	35,234
小計	80,753	73,643
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	1,900	—
流動負債合計	82,653	73,643
非流動負債		
長期借入金	75,226	72,037
リース負債	19,395	23,515
その他の長期金融負債	109	15
退職給付に係る負債	1,227	1,207
引当金	1,514	878
繰延税金負債	3,067	6,005
その他の非流動負債	364	1,520
非流動負債合計	100,904	105,179
負債合計	183,558	178,822
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	6,016	6,031
自己株式	△2,692	△2,677
その他の資本の構成要素	34,289	36,639
利益剰余金	95,912	101,168
親会社の所有者に帰属する持分	140,070	147,706
非支配持分	1,935	1,825
資本合計	142,005	149,531
負債及び資本合計	325,563	328,354

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	151,708	152,278
売上原価	△110,773	△107,345
売上総利益	40,935	44,932
販売費及び一般管理費	△37,623	△37,061
その他の収益	1,375	1,374
その他の費用	△948	△1,034
営業利益	3,739	8,211
金融収益	1,104	957
金融費用	△702	△1,505
持分法による投資利益	481	322
税引前四半期利益	4,622	7,985
法人所得税費用	△496	△582
四半期利益	4,126	7,402
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,188	7,331
非支配持分	△62	71
四半期利益	4,126	7,402
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	63.26	110.65
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	63.18	110.51

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期利益	4,126	7,402
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	751	6,395
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△3
合計	751	6,391
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	839	△4,146
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	△131	265
持分法適用会社に対する持分相当額	99	△103
合計	807	△3,984
税引後その他の包括利益	1,558	2,406
四半期包括利益	5,685	9,809
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,630	9,792
非支配持分	54	17
四半期包括利益	5,685	9,809

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2024年1月1日	6,544	6,113	△2,753	5,717	19,049
四半期利益					
その他の包括利益				751	801
四半期包括利益合計	—	—	—	751	801
自己株式の取得			△0		
自己株式の処分		18			
配当金					
株式に基づく報酬取引		△49	62		
利益剰余金への振替				△9	
その他		△77			
所有者との取引額等合計	—	△107	61	△9	—
2024年9月30日	6,544	6,005	△2,691	6,459	19,850

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2024年 1 月 1 日	30	24,797	89,724	124,426	1,862	126,288
四半期利益			4,188	4,188	△62	4,126
その他の包括利益	△111	1,441		1,441	117	1,558
四半期包括利益合計	△111	1,441	4,188	5,630	54	5,685
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				18		18
配当金			△1,986	△1,986	△84	△2,070
株式に基づく報酬取引				12		12
利益剰余金への振替		△9	9	－		－
その他				△77		△77
所有者との取引額等合計	－	△9	△1,977	△2,032	△84	△2,116
2024年 9 月 30 日	△80	26,230	91,936	128,024	1,833	129,857

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2025年1月1日	6,544	6,016	△2,692	6,846	27,350
四半期利益					
その他の包括利益				6,391	△4,219
四半期包括利益合計	—	—	—	6,391	△4,219
自己株式の取得			△0		
自己株式の処分		8			
配当金					
株式に基づく報酬取引		6	15		
利益剰余金への振替				△110	
所有者との取引額等合計	—	14	15	△110	—
2025年9月30日	6,544	6,031	△2,677	13,127	23,130

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2025年1月1日	92	34,289	95,912	140,070	1,935	142,005
四半期利益			7,331	7,331	71	7,402
その他の包括利益	288	2,460		2,460	△53	2,406
四半期包括利益合計	288	2,460	7,331	9,792	17	9,809
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				8		8
配当金			△2,186	△2,186	△127	△2,314
株式に基づく報酬取引				22		22
利益剰余金への振替		△110	110	－		－
所有者との取引額等合計	－	△110	△2,075	△2,156	△127	△2,283
2025年9月30日	381	36,639	101,168	147,706	1,825	149,531

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,622	7,985
減価償却費及び償却費	8,449	8,276
減損損失(又は戻入れ)	818	△49
受取利息及び受取配当金	△682	△859
支払利息	698	857
為替差損益(△は益)	53	1,019
持分法による投資損益(△は益)	△481	△322
有形固定資産の除売却損益(△は益)	△454	688
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△455
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	480	△5,681
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,056	△5,503
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,104	1,824
契約負債の増減額(△は減少)	1,666	185
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14	△5
その他	336	△113
小計	7,331	7,845
利息及び配当金の受取額	699	863
利息の支払額	△658	△799
法人所得税の支払額	△21,133	△1,841
法人所得税の還付額	305	287
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,455	6,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△135	△1
定期預金の払戻による収入	21	1
有形固定資産の取得による支出	△3,405	△3,261
有形固定資産の売却による収入	1,271	202
無形資産の取得による支出	△291	△414
資本性金融商品の売却による収入	25	167
連結範囲の変更を伴う関係会社株式等の売却による収入	—	5,567
事業譲渡による収入	—	610
短期貸付けによる支出	△4	△3
短期貸付金の回収による収入	3	3
その他	51	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,462	2,872

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	23,223	1,036
短期借入金の返済による支出	△23,983	△1,097
リース負債の返済による支出	△2,792	△3,023
長期借入れによる収入	35,333	—
長期借入金の返済による支出	△13,519	△6,486
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,986	△2,186
非支配持分への配当金の支払額	△84	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,191	△11,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	539	△715
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	813	△3,372
現金及び現金同等物の期首残高	32,304	34,663
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物の振戻額	—	1,239
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物	△1,080	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,037	32,531

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

報告セグメントの識別方法、セグメント利益の測定基準について、当第3四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

なお、当第3四半期連結累計期間における組織変更により、従来「工業部門」に属していた一部事業を「医療部門」に区分変更しております。上記に伴い、前第3四半期連結累計期間の数値についても変更後の区分に組替えて表示しております。

(2) セグメント収益及び業績

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額 (注) 2
	工業部門	医療部門	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	92,678	59,030	151,708	—	151,708
セグメント間の内部売上 収益又は振替高	161	0	161	△161	—
計	92,839	59,030	151,870	△161	151,708
セグメント利益	4,268	2,287	6,555	△2,816	3,739
その他の項目					
金融収益					1,104
金融費用					△702
持分法による投資利益					481
税引前四半期利益					4,622

(注) 1. セグメント利益の調整額のうち、△2,949百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用等で、132百万円はセグメント間取引消去です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額 (注) 2
	工業部門	医療部門	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	95,941	56,336	152,278	—	152,278
セグメント間の内部売上 収益又は振替高	201	—	201	△201	—
計	96,142	56,336	152,479	△201	152,278
セグメント利益	7,257	3,784	11,042	△2,830	8,211
その他の項目					
金融収益					957
金融費用					△1,505
持分法による投資利益					322
税引前四半期利益					7,985

(注) 1. セグメント利益の調整額のうち、△3,415百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用等で、129百万円はセグメント間取引消去で、455百万円は関係会社株式売却益です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。